平成　30　年度

第5次総合振興計画**事務事業評価シート（様式1）**

提出日	H30.7.6
担当 課名	長生き支援課
担当 グループ名	長生き支援グループ
担当 記入者名	

1　事業概要

(1)事業名	老人福祉総合助成事業費	(2)事業種別（新規・継続）	継続	(3)事業性格（政策・一般）	一般事業

(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別	
①基本目標	保健・医療・福祉の充実	①会計区分	一般会計
②大項目	高齢者福祉・介護保険	②財源区分	県補助
③中項目	生きがいづくりと社会参加の推進	③予算科目	款 3 項 1 目 3
④施策	生きがいづくりの促進	④予算事業名	老人福祉総合助成事業費
⑤施策コード	5.4.2.1　掲載ページ　119　ページ		

(6)実施根拠		(7)総合戦略	
①事務分類（自治・受託）	自治事務	①総合戦略（該当事業名）	無
②根拠法令	老人福祉法		
③事業期間	開始　不明　年　月から	終了	未定　年　月まで

2　事業の目的・対象及び内容

(1)目的（何のために行うか）	(3)手段（内容・どのような取り組みか）
高齢者が地域や社会に参加し、生きがいを持って暮らすことができるように総合的に支援する。	各種団体への補助金等の交付と百歳の祝い。

(2)対象（誰に対して、何に対して行うか）	(4)成果イメージ（どのような状態になることを目指すか）
高齢者関係団体（老人クラブ等、シルバー人材センター）及び百歳を迎えた方	各団体が積極的に活動を行い、地域福祉の充実及び百歳を迎えた方を祝い、高齢者の生きがいづくりをし、地域社会が豊かになる。
対象数　10,791　単位　高齢者人数	

(5)事業を取り巻く環境（社会環境、町民ニーズ等）、団体、議会等からの要望など

超高齢社会の到来に伴い、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができる。

3　事業のコスト（実績・予算・決算）　（単位：千円）

項目＼(1)事業(内容)名称	老人福祉総合助成事業費				
決算・予算年度	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算
(2)事業費内訳 老人ｸﾗﾌﾞ活動補助金	1,785	1,698	1,607	1,601	1,608
(2)事業費内訳 ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ補助金	9,100	9,100	8,800	8,800	9,600
(2)事業費内訳 小川町老人ｸﾗﾌﾞ連合会補助金	530	500	485	458	447
(2)事業費内訳 百歳の祝い記念品	176	119	105	134	175
(2)事業費内訳	0	0	0	0	0
(2)事業費内訳 その他	0	0	0	0	0
(2)事業費内訳 直接事業費合計	11,591	11,417	10,997	10,993	11,830
(3)財源内訳 国庫支出金	0	0	0	0	0
(3)財源内訳 県支出金	552	677	642	631	631
(3)財源内訳 地方債	0	0	0	0	0
(3)財源内訳 その他特定財源	0	0	0	0	0
(3)財源内訳 一般財源	11,039	10,740	10,355	10,362	11,199
(3)財源内訳 合　計	11,591	11,417	10,997	10,993	11,830
(4)補助金名	在宅福祉事業費補助金				
(5)人件費					
投入職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
年間人件費	3,354	3,276	3,222	3,101	3,182
(6) 総 事 業 費	14,945	14,693	14,219	14,094	15,012
サービス量（　人　）	9,419	9,825	10,185	10,486	10,791
サービス単価	1.6	1.5	1.4	1.3	1.4
（単位）	千円／高齢者1人あたり				

4　指標の検証（活動指標・成果指標）

老人福祉総合助成事業費

指標名		単位	28年度決算	29年度決算	30年度予算積算
（1）活動指標（実施した事業の量：回数、延長、面積等）					
指標名	目標値				
	実績値				
	達成率				
指標名	目標値				
	実績値				
	達成率				
（2）成果指標（実施した結果として得られた成果の量と達成度：人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等）					
指標名 老人クラブ数	目標値	団体	41	39	39
	実績値	団体	39	39	
	達成率	%	95.1	100.0	
指標名 老年人口における要支援認定者比率（総振目標指標p121）H32年度目標値 6.4%	目標値	%	5.67	5.85	6.03
	実績値	%	4.95	4.55	
	達成率	%	114.5	128.6	

（3）その他指標に現れない成果

町が共催の小川町老人クラブ連合会主催ゲートボール大会に98名参加、同じくグラウンドゴルフ大会に300名参加。
高齢者の生きがいや健康維持、閉じこもり予防の場にもなっている。

5　事業評価

（1）項目別評価

評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他（）
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他（）
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力（企業、NPO、ボランティアなど）を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他（）
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他（）
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他（）
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他（）
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他（）

（2）総合評価（上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。）

活躍の場や集まりの場を補助していくこと重要であるが、その一つである老人クラブが減少傾向にあるため負担を減らすこと等を考えていく。
認定率の減少は、総合事業開始の影響も含まれている。

6　事業の方向性の判断

1　拡充　2　現状維持　3　縮小・統廃合

評価主体	（1）一次評価（担当課長）	（2）二次評価（政策推進課長）	（3）最終評価（町長）
評価	1		
説明	今後確実に増加する高齢者がボランティアを含む地域活動にかかわることは、地域包括ケアシステムの構築はもとより、高齢者の生きがいづくりに大きく寄与するものと考える。今後も老人クラブと連携（協議）する中で、事業提案を行うなど補助金交付を含む支援を行い、高齢者が支える地域づくりを推進する。		